





北谷町議会議長  
田場 健儀

明けましておめでとうございませう。

希望に満ちた平成三十年の新春を、晴れやかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。年頭に当たり、町議会を代表いたしましたして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、町議会に対する町民の皆様の格別のご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝を申し上げます。

本年、町議会及び執行部におきましては、「子ども議会」、「青年議会」に引き続き、「女性議会」を開催し、議会・町政への関心を高め、協働のまちづくりを推進してまいりたいと思っております。

また、町議会におきましては、二元代表制の一翼を担う重大な責務のもと、事務執行の監視機能及び政策立案能力を高め、本町の更なる飛躍に努めてまいります。

私も議員一同、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、更なる創意工夫を重ね、豊かで住みよいまちづくりを目指し、町民の皆様のご期待に応えるよう、全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年も、町民の皆様益々のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。



総務財政常任委員会  
委員長  
大浜 ヤス子

あけましておめでとうございませう。

町民の皆様におかれましてはお健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年も、新年早々米軍ヘリコプター不時着事故が2件も発生しました。事件事故のない静かな生活を求めるものでございます。

さて、第十代町議会がスタートして、早四年目を迎えることとなりました。その間、私たち総務財政常任委員会は、本議会に於いては予算や決算及び陳情の付託を受け、慎重なる審査を行ってきました。所管であります安心安全なまちづくりについては、東部地域の自治会と、土砂災害地域、災害時の危険区域箇所及び通学路の安全確認、外国人とのトラブルについての聞き取り調査、自治会加入について意見交換し今後のまちづくりや防災計画防災訓練に役立つる事を目的に調査を行いました。その中で課題や問題点等が見え、町民の声を町政へ反映させていく決意を新たにし、今後の議会活動に活かして行く所存でございます。

本年度も残された期間、私達委員会六人、町民の皆様とともに力を合わせて、課題解決に取組んでいきます。町民の皆様方ますますのご健康と、ご多幸を心から祈願申し上げます。新年のご挨拶いたします。



経済工務常任委員会  
委員長  
照屋 正治

明けましておめでとうございませう。

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に賜りました格別なるご理解とご協力に対し厚くお礼を申し上げます。

さて、本町においては、返還跡地のキャンパス桑江北側の区画整理事業も着々と進み、美浜地域やフィッシュアリーナ地区も含め、目覚ましい発展をしております。その一方で解決すべき諸問題も多々あります。身近な課題として教育や福祉の問題、住環境の整備、後を絶たない米軍関係による事件や事故等の課題に対し、三常任委員会連携を取りながら住みよい街づくりの為、邁進してまいります。

結びに、本町の更なる発展と町民の皆様のご健康ご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



文教厚生常任委員会  
委員長  
玉那覇 淑子

町民の皆様、新年明けましておめでとうございませう。

輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、文教厚生常任委員会は、これまで最も広範囲に住民福祉に関わり取組んでまいりましたが、更に今年度から教育支援として、入学準備金の貸与に加えて給付型（返済のいらない）奨学金制度の導入、乳幼児期から中学までの医療費の窓口払い無料化、小中学校全校電子黒板の導入等々、学習環境や子育て支援が充実してまいります。

今年、第十代文教厚生常任委員会最終年になりますが、戌年も「出産から老いを迎えるまで、安心して暮らせる協働のまちづくり」「福祉充実のまちづくり」に委員一同、全力投球で頑張る所存です。どうぞ、町民の皆様への叱咤激励も賜りたく存じます。

結びに、今年も皆様にとりまして、よりご健康で幸多き年でありませう心よりお祈りいたします。

感謝。

# 平成29年度 補正予算



## 一般会計

補正額 ..... 1億3,488万4千円

予算総額 ..... 155億5,504万2千円

歳入予算 主に

- ・町税(新築家屋増による。)
- ・財産収入(預金利子を計上したことによる。)
- ・繰入金の増額補正(キャンプ桑江北側返還跡地まちづくり基金繰入金。)

歳出予算 主に

- 民生費・障害者福祉費(重度心身障害者医療費助成事業費及び自立支援介護給付・訓練等給付事業費の対象者増に伴う扶助費の増による。)
- 土木費(土地区画整理事業費の増による。)

## 国民健康保険特別会計



補正額 ..... 38万5千円

予算総額 ..... 52億7,619万円

歳入予算:北谷町職員の給与改定に伴い職員給与費等繰入金の増額補正。

歳出予算:退職被保険者等療養費は、今年度の収出見込みによる増額補正。

## 後期高齢者医療特別会計



補正額 ..... 15万9千円

予算総額 ..... 3億3,610万4千円

歳入予算:北谷町職員の給与改定と被保険者宛て通知の件数の増額補正。

歳出予算:総務管理費、給与改定に基づく職員給与費の増額補正。



補正予算  
可決だ  
ちい♪



※議会だより第89号の6ページ 北谷町水道事業会計(消費税込み)の資本的収入で2億78万9,560円と記述してありましたが、2,078万9,560円となりますので訂正しお詫び致します。

議 案	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
		氏名	宮里 廣	高安 克成	友利 勉	喜友名 朝哲	喜友名 盛充	渡久地 政志	照屋 正治	亀谷 長久	大浜 ヤス子	仲栄真恵美子	玉那覇 淑子	宮里 歩	與儀 誠	仲地 泰夫	阿波根 弘	目取眞 肇	金城 紀昭	中村 重一	田場 健儀	
平成29年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について(町立小中学校校務用パソコン購入)	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
相次ぐ米軍機の部品落下事故に対する抗議決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
相次ぐ米軍機の部品落下事故に対する意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
在沖米海兵隊員による飲酒運転死亡事故に対する抗議決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
在沖米海兵隊員による飲酒運転死亡事故に対する意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
米軍のつり下げ訓練及びパラシュート降下訓練等の禁止を求める抗議決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
米軍のつり下げ訓練及びパラシュート降下訓練等の禁止を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基地から派生する諸問題の抜本的解決を求める決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基地から派生する諸問題の抜本的解決を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行停止と撤去、配備撤回を求める決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行停止と撤去、配備撤回を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度桑江伊平地区造成工事請負契約について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度美浜地区電線共同溝整備工事請負契約の変更について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
美浜駐車場の指定管理者の指定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷フィッシャリーナの指定管理者の指定について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
子どもたちの未来を守るための施策を求める要請	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善をすすめ国の責任で介護報酬など財源の確保を求める陳情書	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善をすすめ国の責任で介護報酬など財源の確保を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議案賛成者は(○)とし、反対者は(×)とします。退席者は(退)、公務の欠席者は(公)、法定伝染病の欠席者は(病)、所用の欠席者は(欠)としています。議長は、採決に加わらないため斜線としています。法律により、採決に加わらない議案については(除)としています。

第467回～第469回

臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

議 案	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	宮里 廣	高安 克成	友利 勉	喜友名 朝哲	喜友名 盛充	渡久地 政志	照屋 正治	亀谷 長久	大浜 ヤス子	仲栄真恵美子	玉那覇 淑子	宮里 歩	與儀 誠	仲地 泰夫	阿波根 弘	目取眞 肇	金城 紀昭	中村 重一	田場 健儀
<b>第467回 臨時議会</b>																					
CH-53E大型輸送ヘリコプターの炎上・大破事故に対する抗議決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
CH-53E大型輸送ヘリコプターの炎上・大破事故に対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(平成29年度一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
防犯灯、防犯カメラ等緊急整備事業 設置工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
<b>第468回 臨時議会</b>																					
F-35A戦闘機を含む軍用外来機飛来・暫定配備等に抗議し、即時撤去を求める抗議決議	可決	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○
F-35A戦闘機を含む軍用外来機飛来・暫定配備等に抗議し、即時撤去を求める意見書	可決	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○
米軍人による道路交通法違反事件に対する抗議決議	可決	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○
米軍人による道路交通法違反事件に対する意見書	可決	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○
<b>第469回 定例議会</b>																					
北谷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び北谷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町都市公園条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度北谷町一般会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 請負契約

# Pick!!

## 防犯灯・防犯カメラ等緊急警備事業 設置工事請負契約



工事期間: 議会議決の日から平成30年2月21日

請負額: 8千640万円 財源: 沖縄振興予算 (補助率10割)

沖縄県内各市町村による防犯灯・防犯カメラの整備を支援し、県民の安全・安心の確保を図るため、県内各市町村からの申請に基づき、補助金交付決定!!

【防犯灯 設置予定箇所】			【防犯カメラ 設置予定箇所】		
	施設名	設置数		施設名	設置数
1	桑江伊平土地区画整理事業地内	4	1	宮城 2 号線及び宮城 2 号線トイレ	15
2	上勢頭桃原線 (中間部)	3	2	北谷公園	12
3	桃原 15 号線	2	3	安良波公園	9
4	吉原地内 (謝苅区公民館近く)	1	4	砂辺馬場公園・砂辺野外運動場	3
5	宮城 2 号線・宮城 7 号線・砂辺 5 号線	9	5	桃原公園	5
6	上勢頭中央線	2	6	宇地原公園	1
7	北玉 3 号線・北玉 4 号線	2	7	謝苅公園	3
8	浜川千原 4 号線・砂辺浜川境界線	2	8	港公園	1
9	玉上線・玉上瑞慶覧境界線	2	9	宮城野外運動場	3
10	北谷高校前線	9	10	美浜駐車場	12
11	桑江中央線・桑江 5 号線・上勢、桃原線	6	11	浜川漁港内	11
12	奈留川線	6			
	計	48		計	75



防犯灯 29年度中に設置



防犯カメラ 町内75ヵ所設置予定

# 指定管理者の指定・その他

## 指定管理者

### 管理を行わせる公の施設



名称 北谷町営駐車場  
所在地 北谷町字美浜 1 番地及び 16 番地

### 指定管理者となる法人（団体）

名称 一般財団法人 北谷地域振興センター  
代表者 理事長 平田 實  
所在地 北谷町美浜 1 丁目 6 番 3

### 指定の期間

平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで



利用者の多い町営駐車場

### 管理を行わせる公の施設



名称 北谷町フィッシャリーナ  
所在地 北谷町字美浜 57 番の一部、59 番 161 番の地先及び 61 番の一部

### 指定管理者となる法人（団体）

名称 北谷町漁業協同組合  
代表者 代表理事組合長 座喜味盛康  
所在地 北谷町字港 4 番地

### 指定の期間

平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで



海業活性化のキーポイント

## 北谷町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果について

平成29年12月22日の議会において、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行った結果、下記のとおり当選人と決定した。

投票で  
決まりました!

### 1 選挙管理委員会委員当選人

番号	氏名	住所	政党
1	大道 義光	字吉原	無所属
2	親田 末光	北前	無所属
3	平良 長春	字吉原	無所属
4	仲村 佳卓	北谷	無所属



### 2 選挙管理委員会委員補充員当選人

番号	氏名	住所	政党
1	津覇 文	字宮城	無所属
2	渡具知 恵子	字宮城	無所属
3	喜瀬 英子	字宮城	無所属
4	照屋 英雄	字砂辺	無所属



# 決議・意見書・陳情

原案可決

在沖米海兵隊員による飲酒運転死亡事故に対する抗議決議・意見書

原案可決

相次ぐ米軍機の部品落下事故に対する抗議決議・意見書

原案可決

F-35A戦闘機を含む軍用外来機飛来・暫定配備等に抗議し、即時撤去を求め抗議決議・意見書

原案可決

CH-53E大型輸送ヘリコプターの炎上・大破事故に対する抗議決議・意見書

採扱

子どもたちの未来を守るための施策を求める要請

原案可決

介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善をすすめ国の責任で介護報酬など財源の確保を求める意見書

原案可決

垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行停止と撤去、配備撤回を求める決議・意見書

- ・ 垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行を全面停止させ、事故原因の究明、及び調査結果を速やかに公開させること。
- ・ 垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行訓練を直ちに中止・撤去させること。
- ・ 垂直離着陸輸送機MV-22、及びCV-22オスプレイの日米両政府の配備計画を撤回すること。
- ・ 米軍普天間基地の早期返還を実現するため、一日も早い危険性の除去に取り組む具体的なスケジュールを示させること。
- ・ 在沖米海兵隊は即時撤退させること。

基地対策委員会では、2/6～2/8に右記の抗議決議・意見書を持って上京し、防衛省・外務省及び県選出国会議員へ要請予定。詳細については、次号に掲載予定。

原案可決

基地から派生する諸問題の抜本的解決を求める決議・意見書

- ・ 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと
- ・ 嘉手納飛行場周辺における航空機騒音の軽減について
- ・ 米軍人・軍属等による事件・事故の抜本的対策について
- ・ 米軍基地から派生する環境問題及び跡地利用に関する措置について

原案可決

米軍のつり下げ訓練及びパラシュート降下訓練等の禁止を求める抗議決議・意見書

あて先 抗議決議  
意見書  
米国及び米軍関係機関  
衆参両議院議長はじめ  
日本政府関係機関

# ずばり、町政を問う!!



**Q 紙おむつ廃棄に透明ビニール袋の使用が  
出来ないか**

**A** ごみ収集時に袋の中身に紙おむつ以外が混入していないか等の確認作業が困難となり業務に支障をきたすことが考えられ難しい

なかえま 恵美子 議員

## 教育行政は

**問** 給食センターの再検証後の進捗状況は

**答** 10月に教育委員会議会で炊飯設備を有する方針の承認を受け、皆さんに理解を得られるよう努力している。平成30年度に実施設計、平成31年度に工事着工、平成32年度に供用開始予定。

**問** 博物館建設事業と隣接の遺跡公園整備の進捗状況と予算獲得の見込みを伺う

**答** 現在、実施設計段階で、ソフト事業は年度内設計完了後、ハード事業として建設工事段階に移行予定。建築工事展示製作等の事業費は、大幅な事業費増大のため、一括交付金の特別枠として現在沖縄県と調整段階中。特別枠事業として採択されると、平成30年度に建設工事へ移行予定であり、平成32年度開館を指している。また、伊礼原遺跡整備事業は、平成28年度から文化庁補助事業として整備を進めており、現在遺跡保存のため造成工事を進行中。し

## 一般質問

かし、全国的な遺跡、文化財活用事業増加で毎年度文化庁補助事業として、補助金の満額交付が厳しい状況。博物館と一体的な整備活用を目指し、現在事業計画を見直し、遺跡公園も博物館開館に合わせた一部公開を目指す。

**問** 公立幼稚園の過去10年間の職員体制、雇用状況と今後の計画は

**答** 嘱託員は基本3年、最大5年、臨時職員は基本6ヵ月、最長1年の任用。現在、嘱託・

臨時職員の任用期間等について、雇用環境の改善と人員確保の観点から沖縄県が導入の一般職非常勤の制度導入に向け取り組んでいる。

**問** 町の教育費の年度ごとの違いを伺う

**答** 学校建設費を除く教育予算の町総予算に対する割合は、教育費と必ずしも一致しない。教育費に大きな臨時的経費が含まれる年度は割合が低くなる傾向。

年齢	クラス数		4公立幼稚園の職員数			園長	
	午前	午後 預かり	正職	嘱託	臨時		
4・5歳	H29	10	6	副園長(4) 担任(10)	午後担任(6)	特別加配(4) 補助教諭(4)	小学校校長が兼務
	H28	10	6	副園長(4) 担任(10)	午後担任(6)	特別加配(2) 補助教諭(2)	
	H27	9	6	副園長(4) 担任(9) 特別加配(1)	午後担任(6)	特別加配(2) 補助教諭(4)	
	H26	10	6	副園長(4) 担任(10)	午後担任(6)	特別加配(1)	
5歳	H25	10	5	副園長(4) 担任(10)	午後担任(5)	特別加配(1)	
	H24	10	4	副園長(4) 担任(10)	午後担任(4)	-	
	H23	11	4	副園長(4) 担任(9)	-	担任(2) 特別加配(1) 午後担任(4)	
	H22	11	4	副園長(4) 担任(10)	-	担任(1) 午後担任(4)	
	H21	10	4	副園長(4) 担任(10)	-	特別加配(1) 午後担任(4)	
	H20	11	4	副園長(4) 担任(10)	-	担任(1) 午後担任(4)	

公立幼稚園の職員体制表

## 環境衛生・ごみ問題は

**問** 倉敷環境の産業廃棄物集積場の問題で北谷町への影響は

**答** 12月5日から主要業務は停止し、産業廃棄物及び事業系粗大ごみの処理に影響。家庭ごみ処理への影響はない。

**問** 紙おむつ廃棄に透明ビニール袋の使用が出来ないか

**答** ごみ収集時に袋の中身に紙おむつ以外が混入していないか等の確認作業が困難となり業務に支障をきたすことが考えられ難しい。

**問** 10枚入りのごみ袋が入っている外側のビニールをごみ袋として活用は可能か

**答** 「資源・有害ごみ」用袋として使用可能。

他に次の質問がありました  
福祉行政について

## Q 基地問題の解決と基地対策課の設置を問う



### A 町長室に組織機能を有し、基地渉外業務の処理の対応性や機動性等は確保

たかやす かつなり  
高安 克成 議員

#### 一般質問

#### 基地問題対策は

**問** 本町以外に基地所在市町村で基地対策課がない所は

**答** 所在26市町村、全てで課を設置。

**問** 米軍基地関連課題は山積、なぜ、基地対策課を設置せず、積極的問題解決適進へ躊躇するか

**答** 町長室に課の組織機能を有する基地渉外係を設置、現行体制で基地渉外業務における処理の対応性や機動性等は確保。適進への躊躇はない。駐留軍用地の返還計画並びに跡地利用も企画財政課で所管、その他の米軍基地関連も庁内関係課で連携し対応。

**問** 上勢頭の土壌汚染で防衛局の示したエリア外でのボーリング調査とエリア内の建物のない場所での土壌の入れ替えは今すぐにも必要だと考えるが本町の見解と今後の対応は

**答** 局から特定範囲が確定したと報告があった。土壌入れ替えは、住民説明会の地権者

からの質疑で、局は「個々に意見を伺い、対策は相談したい。」と回答、現段階では町からのコメントは差し控えた。



問題発生の多い基地

#### 子育て環境を問う

**問** 中学卒業生の追跡調査の必要性があると思うが、実施済みなら人数等の詳細は

**答** 平成29年3月末時点で、進学生徒が353人、未定が13人。未定生徒その後の状況は、通信高校へ進学1人、専門学校へ進学1人、高校浪人1人、アメリカへ転出生徒1人、就職の生徒9人。追跡調査は、調査研究を進め慎重に検討する必要があると考える。

**問** 若年妊娠の実態を耳にするが調査は

**答** 親子健康手帳交付・妊娠届出状況では、平成26年度は19歳以下の方が16人で妊娠届者の4.7%、平成27年度は、19人で5%、平成28年度、8人で2.4%。

**問** 全国で54万人と推計される引きこもりのきつかけは不登校が最多、学生時代のケアが重要と思うが調査は

**答** 「組織的・計画的指導支援システム」に基づきチームで支援に取り組んでいる。

**問** 子の貧困調査の本町での実施計画を伺う

**答** 平成28年度、児童扶養手当現況届の窓口提出時に、聞き取り全数調査を実施、502人から有効回答、町ホームページで公表。回収率は87%。「平成29年度沖縄県子ども調査」を2歳児又は5歳児がいる世帯を対象に実施する。

**問** 活力ある街づくりの為、物価高の本町で、新婚世帯への家賃補助、定住者住宅購入

奨励金の可能性を伺う

**答** 補助は今後の研究課題とし「北谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき各施策を優先的に取り組んでいる。



若年出産の危険性を学ぶ

他に次の質問がありました  
 ● 給食センター事業と防災計画  
 ● 役場の状況について  
 ● 博物館建設について  
 ● 移動手段としてのCバスについて



## Q 教育委員会での給食センターの基本計画について、どのような議論がなされてきたか

A 基本構想で検討課題となっていた事項の精査を行ない、炊飯調理については民間委託とする整備方針を定めた

なかむら しげいち  
中村 重一 議員

### 学校給食センターの建設と運営を問う



本来望まれるべき、公設公営での自炊炊飯

**問** 教育委員会での給食センターの基本計画について、どのような議論がなされてきたか

**答** 新設の学校給食センターに必要な機能や役割を満たしつつ、できる限り予算の低減を図れるよう、基本構想で検討課題となっていた事項の精査を行ない、炊飯調理については民間委託とする整備方針を定めた。

### 一般質問

**問** 県内、中部市町村における、給食センターの直営、民間の割合、運営方法は、本町で直営か、民間委託かについて検討、議論したことがあるか

**答** 学校給食センターの運営について直営と民間委託の検討結果として、「可能な限り、直営方式が望ましい。ただし、人件費等の経費の節減と衛生管理の徹底を条件とする。」との提言がなされた。運営方法

**問** 学校給食の目標、目的と位置づけについてどの様に考えているか

**答** 児童生徒の心身の健全な発達に役立つとともに、食に関する正しい理解や適切な判断力を養う上で重要な7つの目標を掲げ、学校給食における食育の推進を図ることを目的としている。

は、平成28年度、県内の直営の調理場数が76施設、民間委託の調理場数が21施設。うち中頭教育事務所管内の10市町村では直営の調理場数が20施設、民間委託の調理場数が4施設となっている。

### 本町における子育て支援の施策は

**問** 本町での支援策とその財源、施策の効果は

**答** 本町の施策については、「ちーたん塾」の開設をはじめ、中学卒業までの通院費無料化、認可保育園の新設等の保育の受け皿の拡充、公的施設を活用した放課後児童クラブの設置、第三子以降の児童生徒の学校給食費の全額補助、特定不妊治療費の助成など。財源と費用対効果については、国及び県の交付金・補助金を効果的に活用、さらに、町の単独費用で様々



健やかな育ちが皆の願い

な事業を展開することで、他市町村より充実した子育て支援の推進に取組んでいる。

**問** 次年度または今後の子育て支援で新たな施策は検討されているか

**答** 平成30年度、県に先駆けて、こども医療費助成事業の「現物給付方式」を導入する。

他に次の質問がありました  
・米軍基地と環境補足協定について



## 特定不妊治療費助成の成果と課題は

**A** 平成28年度12人に助成し、8人に親子健康保険手帳を交付。周知不足が課題

喜友名 盛充 議員

### 特定不妊治療費助成事業を問う

**問** 成果と課題は

**答** 平成28年度12人に助成し、8人に親子健康保険手帳を交付。周知不足が課題。

**問** 現在、町の助成は県の助成後となっているが、町の助成を先に出来ないか。また、貸付制度の可能性を伺う

**答** 県の助成を受けている事等が助成対象要件で貸付を含め不可。

### 子ども・子育て支援は

**問** 現在の待機児童数と0にするのに必要な保育園・保育士の数は

**答** 平成29年12月現在100人。数は需給の差となり予測困難だが平成31年度末までに定員121人拡大の目標。

**問** 保育士欠員状況に伴う待機児童数は

**答** 町立保育所は嘱託11人、臨時5人が欠員。それに伴う定員割れ39人。私立保育所の

保育士欠員で定員割れはない。

**問** 放課後児童クラブの待機児童数は

**答** 平成29年12月現在、民間39人、公立1人。



働く保護者の安心を担う保育園・学童クラブ

**問** 学童クラブは平成31年度までに新規260人(8施設)の整備計画だが平成27年度より増えていない理由と考えは

**答** 現在民間5施設、公立1施設がある。公的施設の活用を図るとしているが協議やニーズ調査等を行う必要があり、今後調査研究。

**問** 放課後児童支援員のキャリアアップ支援が出来ないか伺う

**答** 処遇改善等は行っているが、今後調査研究。

### 北谷グスクと伊礼原遺跡・町立博物館建設は

**問** 進捗状況は

**答** 北谷グスクの国指定史跡に向け取組んでいるが、返還時期・ラインが定まっておらず環境補足協定により調査も難航。伊礼原遺跡整備事業は敷地造成工事を今年度完了予定。空間を4区分し復元を進め、平成31年度より一部、平成34年度より全部供用開始予定。博物館建設は実施設計段階で平成30年度から平成31年度にかけ建設工事、展示制作、平成32年度の開館を目指している。



発掘された伊礼原遺跡

める一方で継続的な人材育成が難しく、利用者へのサービス向上が蓄積されにくい可能性がある。

**問** 各施設の連携と展望について伺う

**答** 博物館を通して歴史・文化的な資源、動植物といった自然を紹介する事により、文化発信拠点として体験・学習・観光資源として活用。

**問** 収入源創出のため指定管理者方式を検討しているようだがメリット・デメリットは

**答** 調査研究部門は直営。対外的な広報、施設運営は指定管理とし、経費削減等が見込

他に次の質問がありました

- ・町内の敬老会について
- ・広報ちゃん等の世帯配布について



たまな は ひでこ 議員  
玉那覇 淑子

## Q 北谷町の防災計画の見直しと地域観光地区としての町づくりは

A 避難施設の追加等に応じ見直し「沖縄県観光危機管理基本計画」に準じる

### 防災計画を問う

**問** 本町で近年の地震災害等を鑑み、地域防災計画見直しがされているか



防災を学ぶ子どもたち

**答** 国、県の防災方針及び本町の情勢を勘案し検討を行ない、必要に応じて見直し等を行なっていく。

**問** 学校教育で児童生徒・地域との防災の関わりの取組みはこの防災の関わりの取組みは

**答** 小学校は地域探検や散策、地域マップや安全マップづくり、避難場所の確認、防災設備や地震・津波への備えを学び、中学校は「自分や家族・地域を守る日頃からの備え」

### 一般質問

や「地域の人と関わることの大切さ」等を学ぶ。

**問** 要支援者、要配慮者等の安全確保体制を問う

**答** 自治会、自主防災組織等と連携を図り、防災訓練などを通し、避難行動要支援者の安全確保の取組みを推進。

**問** 管理運営計画、人員体制、運営方式、総事業費、年間運営費、初年度来館予定者数は

**答** 想定する津波の遡上高及び土砂災害警戒区域、避難施設の追加等に応じ見直し、作成している。また、観光危機管理の基本的な対応等を定め、「沖縄県観光危機管理基本計画」を策定。

**問** FMニライで、ひとくち防災放送番組を制作の取組みは

**答** 防災情報は、ホームページ等で提供。FMニライと地域情報を発信するための放送契約締結の中で取組めるか検討していく。

### 発達障がい児・者の総合的支援体制は

**問** 町の発達障がい児・者の支援体制図は乳幼児期から成人の就労まで、その後の相談窓口、支援体制と体制図はまだ途中か何う

**答** 体制図は、状況の変化に応じ加筆修正、運用していく。成人期の支援は、沖縄県発達障がい者支援センターや障がい者就業・生活支援センター等関係機関と連携を図り、町の相談支援事業や福祉サービスなどの必要な支援を実施する。

**問** 1歳6カ月健診から発見ができる発達障がいの有無の理解と支援のための総合計画は

**答** 発達経過の把握を要する親子に対し、地区保健師による継続相談を実施、必要に応じて早期発達支援の場である「健診事後教室」に案内。発達障がいがなる子どもとその保護者に対して、小集団での親子参加型保育を実施。また、障がい児等の福祉の向上を目的に、特別支援保育を実施。

**問** 発達障がいを持つ、あるいは育ちの気になる児童生徒が学校で意図的または無意識

の中でいじめはないか、学校生活の環境を問う

**答** 子どもの発達の段階で特性のある発達障がいがある。いじめにつながることもある。小中学校では各学校が策定している「学校いじめ防止基本方針」に沿って取組み、スマイルプログラムによる人間関係づくりに取り組んでいる。



1歳6カ月児健診の有効性は

他に次の質問がありました  
・返済のいらぬ給付型奨学金について  
・北谷町に「九条の碑」建立を願うについて



みやまどと あゆみ 議員

## Q 子育て世代の声を反映させるため託児サービスをバックアップする考えは

A 本町主催の事業等で託児サービスを実施し  
子育て世代の保護者が参加しやすい取組みを推進

### 核兵器廃絶を伺う

問 「ヒバクシヤ国際署名」に賛同署名する意向がないか伺う

答 沖縄戦体験並びに広島・長崎被爆体験の教訓を正しく継承する取組みを重点に進めており「ヒバクシヤ国際署名」については適切な時期に検討する。

### 子育て・託児を問う

問 町主催事業等に子育て世代を参加させ子育て世代の声を反映させるため託児サービスをバックアップする考えは

答 本町主催の事業、憲法講演会、集団健診や離乳食学級等で託児サービスを実施しており子育て世代の保護者が参加しやすい取組みを進めている。

問 出生届けをした際にパスデープレ



町の夜間保育の実態はあるか

セントとしてファミリーサポートセンターを数時間利用可能な子育てサポート券の発行は

答 現在のファミリーサポートセンターの運営体制では、十分な供給量が確保できないことや利用時のマッチングにかかる体制の確保ができないことが懸念される。今後も委託事業者と連携し、事業の周知、サポーターの養成を実施し、より多くの方々に利用出来るような取組みを推進する。

問 観光客が利用出来るような、民間活力を利用した託児サービスが必要だと思いが、当局の考えは

答 観光事業者の意見を聴取し、利用者ニーズも確認しながら、子ども、家族連れ等、ターゲットを明確にした商業機能の促進を図っていききたい。

問 町内の認可園での夜間延長保育の再開予定は。また、町内で夜間延長保育を行なっている所があるか、町外の認可外夜間保育の利用者数を伺う

答 夜間の延長保育については、事業所で必要な保育士の配置が出来ないため実施できない状況。再開できる時期については未定。また、町内で夜間延長保育を行なっている施設はない。町外には計15カ



災害時のマンホールトイレ

所の認可外保育施設で実施。認可外保育施設の利用は、役場を介さず利用者と事業所の直接契約での入所のため利用状況は把握していない。

### 防災について伺う

問 災害時に本町でマンホールトイレが設置できる箇所は何か所あるか

答 現在マンホールトイレ設置を想定して施設整備は行なっていないが、一定の広さがあれば駐車場や公園等を利用し設置できると考えている。近年、汚水を排水しない水循環式や、おが屑等によるコンポストなどの自己処理型トイレ等が商品化され始めているが、まずは、現在備蓄している簡易トイレを段階的に備蓄したいと考えている。



## 町道伊平線から国道58号線の交差点に 右折矢印信号の設置の予定は

**A** 町道伊平線から国道58号線の交差点については、右折矢印信号の設置要望を県警察本部に行いたい

てるや まさはる  
照屋 正治 議員

### 一般質問

**問** 県道部分について年内の12月末の完了予定。県道の手前から区画整理地区内については来年1月末までに整備完

**答** 県道部分については、年内の12月末の完了予定。県道の手前から区画整理地区内については来年1月末までに整備完

**問** 桑江伊平土地地区画整理地区の整備状況と経済効果及び道路の補修等は



右折矢印信号が望まれる交差点

了予定。

国道58号線の交差点については、右折の矢印信号の設置要望を県警察本部に行う。

**問** キャンプ桑江南側を含め、直接経済効果及び誘発雇用はどのよう

**答** 町税（固定資産税）は、使用開始前の約3千70万円から今日では1億3千3百10万円

いる。また、直接経済効果及び誘発雇用についての試算は厳し

### 基地問題を問う

**問** 嘉手納飛行場への外来機飛来、F35ステルス戦闘機配備計画への町長の所見と配備反対の町民大会開催について

**答** これ以上の嘉手納飛行場の機能強化及び基地負担は到底認められない。

現時点で町単独での町民大会の開催は考えていないが適宜状況をみながら総合的に判断したい。

**問** F-15戦闘機の県外移転訓練の実績と最近の騒音測定結果、外来機飛来に伴う比較を問う

**答** 常駐機と暫定配備されたF-35A戦闘機を含む外来機で比較した場合町内5カ所測定局のうち砂辺と北玉局で8デシベル上昇する114デシベルを記録。外来機飛来で航空機騒音の被害が増大している。



爆音を撒き散らす米軍戦闘機

### コミュニティバスのアンケート結果は

**問** アンケートの集計、結果を問う

**答** 町民は運行を知っている88%、利用したことがない87.5%、10代と80代以上の利用が多い。改善点では、「運行便数を増やす」「スマホ等で運行状況を提供する」来訪者は「バスの運行を知らない」が80%で周知活動が課題。運賃、乗り心地、運転手の対応で「満足」「やや満足」が85%、取りまとめ作業終了後、ホームページで公表する。

**問** アンケート結果を踏まえ、今後のスケジュールを問う

**答** 次年度の運行に改善策を反映させる。次年度は最終評価を行い、本格運行の可否や適正な運行形態等の検討を行う。



みやざと ひろし 議員 宮里 廣

一般質問

Q 職員のさわやかあいさつ運動は

A 住民の皆さまに対し公正で最適なサービスの提供が出来るよう取組む



住民の苦情が多い公民館前違法駐車

道路行政を問う

問 栄口区公民館前の町道団地12号線は違法駐車車両が多く、付近住民・子どもの登下校において大変危険であり、早めに取組みができないか伺う

答 町道団地12号線の路上駐車については、周辺地域住民の合意形成が不可欠である。議員の御協力も頂きながら自治会、沖縄署との相談をした上で対策を検討したい。

災害弱者への対応は

問 高齢者、乳幼児、障が

い者など、いわゆる災害弱者への対応について伺う

答 高齢者、体の不自由な方、乳幼児などの避難行動要支援者への対応について、本町地域防災計画に基づき、防災知識の普及、災害時の情報提供、避難誘導及び救護・救済対策等の様々な場面において、本町をはじめ国・県等の公共機関及び地域住民、自主防災組織等が連携して行う。町としても、自治会、自主防災組織等と連携を図り防災訓練などを通して、避難行動要支援者の安全確保のために取組みを推進する。



自主防災組織の避難訓練

スポーツ合宿の誘致は

問 わが北谷町の公園は着実に整備され、町民の多くに利用されているが、有効活用について伺う

答 本町の公園施設には、各種運動施設が整備されており、プロ野球キャンプの受け入れをはじめ、各種競技の合宿受入及び大会等に寄与しているものと考えている。

問 スポーツ合宿はイベントのように一過性のものでなく、評判がよければ次の年もつながら、わが北谷町の魅力を大いにPRし、サッカー等プロ、アマスポーツキャンプ合宿の誘致についてどのような対応を考えているか

答 本町の公園施設には、各種運動施設が整備されており、プロ野球キャンプの受け入れをはじめ、各種競技の合宿受け入れ及び大会等に寄与しているものと考えている。特にスポーツ合宿については、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、事前合宿の誘致に取組

んできた。これまでも日本フェンシング協会、ブラジルラグビーチームの視察受け入れを行い、また今月は日本セーリング連盟ウインド・サーフィンオリンピッククラスの沖縄特別強化合宿の受け入れも行った。今後も教育委員会が策定している「北谷町スポーツ推進計画」に基づき、本町に適した競技の受け入れ及び公園施設の有効活用について検討する。



スポーツ施設が集約された西沿岸地域

他に次の質問がありました

- ・防災行政無線による迅速な情報提供について
- ・観光振興について



## Q ダイオキシン等有害物質の発見から7年間 放置された補償と売買白紙の考えは

A 防衛局も含め三者で協議を進めており、具体的課題の抽出と対応を本町から国へ強く要望している。地権者の意向の実現に努める

きんじょうのりあき  
金城 紀昭 議員

### 上勢地区の汚染物質 検出問題を問う



住民の不安が残る土壌汚染対応

**問** 土地斡旋した町に責任の一端はないか

**答** 平成23年5月に住宅建築に係る調査時に検出。国の調査後、米軍に起因する廃棄物と認めた。本町は、国の責任として地権者に不利益にならないよう措置を求め、住民の不安を払拭するよう追及する責任があると考えている。

**問** 防衛局説明の鉛とヒ素の基準値と平成28年調査、今回調査、ボーリング調査の分析結果の違いを納得するか

**答** 本町は常に専門（第三者）機関として県に結果の妥当性について確認し、「沖縄防衛局調査結果は問題ない」と回答を得ており、妥当性があると考えている。

**問** ダイオキシン等有害物質の発見から7年間放置された補償と売買白紙の考えは

**答** 防衛局も含め三者で協議を進めており、具体的課題の抽出と対応を本町から国へ強く要望している。地権者の意向の実現に努める。

**問** 廃棄物埋設範囲上で暮らす住宅の軒数、地権者の不安の声と対する町の答弁内容は

**答** 数件確認。健康や地盤沈下に対し、定期的なモニタリング等の実施を新たに求めたい。不動産に与える影響は、国が引き続き対象者へ訪問し意見聴取と対策を相談するとの回答があり、随時状況を確認。

**問** 町と地権者は被害者。防衛局に補償を含む対応の追求は

**答** 本町は当初から国に調査とその結果を説明、廃棄物の範囲確定、周辺住民に対し不利益が生じないよう早い対応を求めている。

### 鉄軌道の建設促進は



未来を拓く鉄軌道

**問** 既存7ルート案で本町が望むのは

**答** 北谷町を通過する案は中部西・北部西ルート、中部西・北部東ルート、中部西・北部東（恩納経由）ルート、中部東（北谷経由）・北部西ルート、中部東（北谷経由）・北部東

ルート5案で、いずれかを望む。

**問** 第4回沖縄鉄軌道市町村会議の内容は

**答** 「鉄軌道導入に向けた検討の流れと各段階の役割」「比較評価の内容」「今後市町村が必要となる取組み」等が説明された。比較評価内容では、「費用便益分析、採算性分析、事業性、環境の項目」の説明で、本町を通過する中部東（北谷経由）・北部西ルート案が、他家と僅差ながら最高値を示している事が資料に記載。今後市町村が必要となる取組みは、「駅を考慮したまちづくり」「公共交通利用の意識醸成」「公共交通ネットワーク構築の必要性」等と説明。

**問** ルート案決定までの情報共有や連携は

**答** 本町を含む中部9市町村による地域意見交換会が予定されており、その場を活用して情報交換等を行いたい。

他に次の質問がありました

・倉敷環境問題について



あはごん ひろし  
阿波根 弘 議員

一般質問

道路行政は



住民が待ち望む桑江 16 号線の開通

町道桑江16号線の進捗状況は

これまで用地買収や排水路のボックス及び盛土工事を行ってきた

**問** 桑江区内北谷高校とゴルフレンジの間から役場向けに計画されている町道桑江16号線の進捗状況は  
**答** これまで用地買収や排水路のボックス及び盛土工事を行ってきた。当該道路は、米軍が使用している貯水施設やパイプライン等、現に稼働及び利用している施設に重複して、当該道路を計画していることから、当該米軍施設である陸軍貯油施設及びキャンパス桑江南側の返還後に

整備ができるものと考えている。

**問** 町道桑江17号線の進捗状況について伺う

**答** 現在の進捗率は、11月末現在53%。今後の工事発注予定は、年明けに伊平桑江線の開通を見据えて、第二工区を発注し、平成30年度4月下旬に第三工区、6月下旬に第四工区の工事発注を予定している。

**問** 町道桑江13号線、14号線が40年近く側溝の蓋がない。区民から早期整備の要望があるが、今後の対策を伺う

**答** 民間開発により整備された道路で、本来なら開発完了後に道路用地を町に無償譲渡されるべき道路。まだそれがなされていない状況。地権者から権限の取得ができるよう、今後、全体的な計画及び方針を含め検討していきたい。

時間外勤務を伺う

**問** 休日勤務を含む町職員の時間外勤務は、月平均何時間か。時間外勤務手当の総額は年間にして幾らか

**答** 休日勤務を含む時間外勤務は、平成28年度、1人あたり月平均9時間で、役場全体では月平均2,074時間になり、年間総額は約5,637万2千円。

町民運動会を問う

**問** プログラムの内容や時間

の短縮、開催場所の見直し等の要望がある。町の見解を伺う  
**答** プログラム内容は、今年度の情報交換会での意見を踏まえ次年度に向け企画。会場の見直しは、情報交換会でも意見があり、以前に行われていた桑江総合運動場での開催が可能であるかを含め検討をしている。



町民運動会開催地の再考を

他に次の質問がありました  
・商工業振興について



## Q 浜川漁港の魚の漁獲高が少ないが、農林水産課の対策は

### A 水産業と観光業との連携を図る

喜友名 朝哲 議員

#### 一般質問

**問** 浜川漁協では魚の収穫があまり無いようだが、農林水産課の対策を伺う

**答** 近年は、操業コストの高さや海洋環境の変化など、陸揚げ量は減少傾向と、漁場を取り巻く環境は依然厳しい状況。獲る漁業からつくり育てる漁業への転換が課題。農林水産課の対策は、養殖業への支援を行い、水産業と観光業との連携を図り海業の振興を図る。



浜川漁協のセリの様子

#### 北谷町の西海岸事業と第一次産業は

**問** 北谷町には農家登録者は居るか。また、農地は有るか伺う

**答** 農地法で定められている農地基本台帳により、農地74件、面積61,346平方メートル、字吉原及び字玉上に点在し、小規模な農地である。

**問** 西海岸は海業で栄えているが、今後の新しい事業はどのように考えるか

**答** 本町は、水産業と観光・レクリエーション等のマリ産業が融合した交流拠点の形成を図るためのフィッシュアリーナ整備事業を積極的に推進。水産業の拠点である浜川漁港を基盤整備、今後も漁港施設内の未利用地を水産関連会社企業の誘致や駐艇場及び倉庫など有効活用し、水産業の発展につなげていく。

**問** 宮城海岸では、諸団体のサーフィン大会を開催してお

り、県内外から多くの集客も有ることから、行政主催のイベントとしての考えはないか町長の所見を伺う

**答** 県内の大会は、沖縄サーフライダー連盟が、選手の技術の向上を目的に、本町の砂辺・宮城海岸、糸満市米須海岸等で実施。今年7月には、北谷町出身の高校生プロサーファーが誕生。今月もウインドサーフィンオリンピッククラスの強化合宿を実施、サーフィン大会は本町の西海岸の活性化に大きく寄与すると思う。あらゆる側面から大会実施に支援していきたい。



海業活性化へ期待されるサーフィン大会開催

#### エコ対策を問う

**問** 北谷町のエコ対策の状況を伺う

**答** 温室効果ガス削減の取組みとして、「北谷町温暖化防止実行計画」を策定。「使用していない会議室やトイレ等及び昼休み時の消灯」並びに「空調の使用時間や運転時間及び温度管理の徹底」、節電対策や省エネルギー型設備の導入を推進。「使用済みコピー用紙の再利用」、とりサイクル等を役場庁舎及び、出先機関や学校等も含め取組み、平成24年度から平成26年度の3年間で、目標値以上の7.2%の温室効果ガス排出量を削減。継続して取組み強化。ごみ減量化は、草木類のチップ化による減量及び堆肥化、粗大ごみの再利用の推進。一般家庭における生ごみを堆肥として活用。生ごみ処理器購入補助の促進していく。

他に次の質問がありました

- ・博物館事業について
- ・給食センターについて



おおはま やすこ 議員  
大浜 ヤス子

一般質問

認知症対策は

**問** 認知症対策の方向性を問う

**答** 具体的には、早期診断、早期対応に向けた「認知症初期集中支援チーム」の設置、発症予防から人生の最終段階までの、生活機能障害の進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのか理解できるとような「認知症ケアパス」の作成に取り組む。



認知症の早期診断の有用性

安心安全な町づくりを問う

**問** 通学路の歩道がない道路にグリーンベルトを設置してほしいとの要望があるか問う



グリーンベルトで通学路の安全確保を

**答** グリーンベルトについては、北谷小学校前の町道桃原中央線、北谷第二小学校周辺の町道団地9号線、桑江1号線にグリーンベルトを設置しており、平成29年度には町道団地2号線、宇久殿中央線でグリーンベルトを設置する予定。次年度以降にも団地2号線を予定。今後は、教育委員会と通学路の安全交通安全プログラムに基づき、関係機関と通学路の安全

点検を実施、現状を確認して検討していく。  
**問** 玉上の私道で、台風により3カ所木が倒れ、子どもたちの通学路でもあり危険。3年前にも地滑りがあり危険な状況にある。早急な対応が望まれる等の要望がある、担当課の所見を伺う

**答** 台風等による倒木の恐れがある高木の地主には、伐採の対応を促し協力を求めていくこととして、又、文書等での協力もお願

引きこもり対策は

**問** 内閣府は昨今、公表した調査では、引きこもりの人は、全国に推計約54万人。対象者は15〜39歳に限られ。就労も厳しい状況となっている。本町の引きこもり対象者を把握



1人じゃないよ！

していますか、把握されているなら対策及び今後の方向性について伺う  
**答** 本町での引きこもりの対象者については、把握してないが、障がい福祉サービスの相談支援事業やパーソナルサポートセンターが実施する出張相談等で、引きこもりに関する相談を受け、支援しているケースが有る。

今後も、引きこもり等の相談の専門機関である「沖縄県ひきこもり専門支援センター」「沖縄県子ども・若者みらい相談プラザsorae」の周知を図る。

他に次の質問がありました  
・非正規雇用者の生理休暇の有給扱いについて

Q 認知症対策は

A 「地域包括ケアシステム」の構築と、「自助・互助・共助・公助」の機能を活かし、地域全体で支え合う仕組みづくりに向け推進



## Q 本町のリゾートウェディングの取組みは

A 本町におけるウェディング関連業の重要度は益々高まってくる

なかち やすお  
仲地 泰夫 議員

### 本町のリゾートウェディング取組みは



期待が高まるリゾートウェディング

532組、海外組数12%の1,867組。本町におけるリゾートウェディングの実施組数及び、ブライダル撮影組数の、正確な数字として調査はない。

問 本町でのリーガルウェディングの平成26年度～28年度の組数と今後の取組みについて伺う

答 平成26年度は8件、7件、香港、その他、地域で1件、平成27年度は、9件、全て香港。平成28年度は27件、26件は香港、1件は台湾。本町も参加し、町観光協会と意見交換会を図り、今後検討する。

問 前年度、本町で行われている、リゾートウェディング（フォトウェディングを含め）の組数、ブライダル関係の撮影数を伺う

答 実施組数15,399組、国内組数全体数の88%の13,

### 一般質問

### 博物館及び史跡公園を問う

問 博物館及び史跡公園の財源計画、具体的な建設スケジュール、供用開始の時期を伺う

答 一括交付金の基本枠では、財源不足を生じ、財源活用できよう沖縄県と調整。工期についても、建築工事、周辺整備工事といった建設工事の工程を当初より大幅に見直し、3年間という期間で調整する。



博物館の建設スケジュールは

問 博物館建設のねらいを伺う。場所について再検討する考えはないか

答 伊礼原遺跡を保全し、公開活用を目的とし、活用のた

め遺跡公園として整備、隣地に駐車場を含めた北谷町の歴史文化を発信する博物館建設を計画し、一体的活用を目指して現在にいたる。

### 姉妹都市交流は

問 本町から東北地方を代表する「亀ヶ岡式土器」が見つかった。青森県つがる市との姉妹都市交流を検討する考えはないか

答 現時点では調査・研究とさせていただきたい。

問 姉妹都市は、職員の相互派遣や観光施策の協力・連携を行っており、メリットが多いと考えるが今後の取組みを伺う

答 今後も、現在の各種個別の交流等を充実させながら、姉妹都市として総合的かつ広範囲にわたつての自治体交流が実現できるよう検討していく。

他に次の質問がありました

・北谷城の国指定への取組みについて



# 三常任委員会所管事務調査

北谷町議会三常任委員会では閉会中も北谷町内の視察調査も行っている。



## 総務財政常任委員会

所管=総務部、選挙管理委員会、会計課、議会事務局に関する事務及び他の常任委員会に属しない事務



町内の土砂災害等危険箇所の視察

## 経済工務財政委員会

所管=建設経済部及び上下水道に関する事務



平成 28 年米軍返還地における土壌汚染の視察

## 文教厚生常任委員会

所管=住民福祉部及び教育委員会に関する事務



オープン教室の視察&保育所問題等の意見交換



# 私たちの役場職員の働き方はどうなっている!?

沖縄は全国的に見ても非正規化が進んでおり、特に女性が多い職場で顕著である。本町でもこれまで非正規化が進んでおり、本町在住者が正規で半分を下回り、非正規で半分以上を占めているのが分かる。

地域活動や災害時対応等における地元在住者の重要性が求められる一方で住民税や地域での消費による税収にも影響がある。今後、人材育成・発掘等が課題となる。

公務員は民間のような多様な働き方を設定するのは難しいが、業務効率等を意識し、長時間労働が個人に集中しないような人材の配置や仕組みを構築し過労死等を防ぐ必要がある。

最も多い職員の残業時間等

696 時間 / 年 (58 時間 / 月)

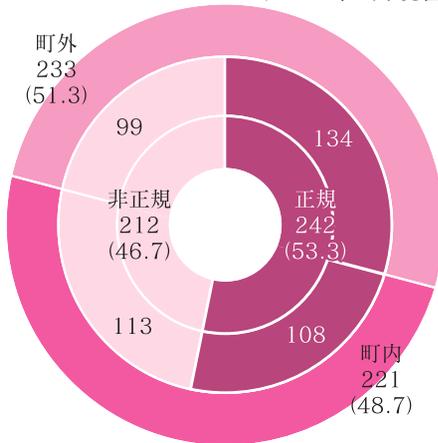
159 万 2489 円 / 年

対応

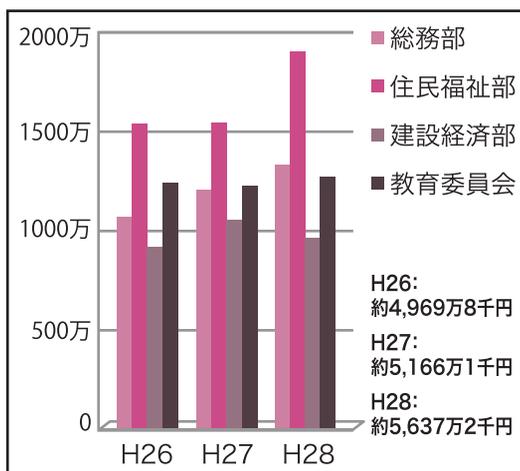
45 時間 / 月 → 担当者が残業内容と体調を確認

100 時間以上 / 月 → 産業医と面接

(2017年4月現在)



正規・非正規及び町内外在住職員の状況



各部の残業総額

各部の残業総額

自治体	(2015年4月1日現在)		
	正規職員	非正規職員	非正規比率 (%)
那覇市	3,965	1,484	27.2
石川市	2,371	1,500	38.7
浦添市	691	502	42.1
糸満市	568	505	47.1
豊見城市	801	372	31.7
読谷市	556	205	26.9
糸満市	440	381	46.4
豊見城市	996	1,118	52.9
読谷市	400	348	46.5
読谷市	842	908	51.9
読谷市	782	521	40.0
読谷市	337	321	48.8
読谷市	102	69	40.4
読谷市	74	78	51.3
読谷市	54	13	19.4
読谷市	121	184	60.3
読谷市	127	50	28.2
読谷市	131	156	54.4
読谷市	93	179	65.8
読谷市	155	181	53.9
読谷市	146	155	51.5
読谷市	269	322	54.5
読谷市	162	172	51.5
読谷市	241	250	50.9
読谷市	135	145	51.8
読谷市	112	90	44.6
読谷市	221	280	55.9
読谷市	129	176	57.7
読谷市	199	272	57.7
読谷市	62	33	34.7
読谷市	56	47	45.6
読谷市	50	29	36.7
読谷市	26	8	23.5
読谷市	47	12	20.3
読谷市	32	20	38.5
読谷市	61	54	47.0
読谷市	81	42	34.1
読谷市	184	97	34.5
読谷市	183	244	57.1
読谷市	51	48	48.5
読谷市	134	104	43.7
読谷市	70	43	38.1
計	16,257	11,718	41.9

※県のみ2015年6月1日現在の職員数

職員定数：256 人 各年 4 月 1 日現在 単位：人

		職員数			対前年比 増減数
		H27	H28	H29	
一般行政部門	議会	4	4	4	0
	総務・企画	47	52	50	△2
	税務	15	14	14	0
	民生	52	50	50	0
	衛生	13	11	11	0
	労働	0	0	0	0
	農林水産	5	6	6	0
	商工	6	6	6	0
	土木	22	19	20	1
	小計	164	162	161	△1

		職員数			対前年比 増減数
		H27	H28	H29	
特別行政部門	教育	60	60	60	0
	小計	60	60	60	0
特別会計部門 公営企業等	水道	10	10	10	0
	下水道	4	4	4	0
	国保	5	5	6	1
	後期高齢	1	1	1	0
	小計	20	20	21	1
合	計	244	242	242	0



北谷町女性議会  
議員 新垣 千秋

## 女性議会に参加して

生まれも育ちも北谷の私、ここ数年「地域で私にできることは何があるだろう」と思いながら、何ができるか、何をしたらいいかがわからず、思っただけが燻っていた。

そんな時、周りから「今度、女性議会があるけど、参加してみない」と声をかけて頂き、何かきっかけになればと参加させて頂く事にした。

議会傍聴の経験もなく、議会だよりも気になるところだけ読んでいただけの私で、参加することの不安はもちろん、ワクワク期待する気持ちも大きくあった。不安半分、期待半分で臨んだ当選証書交付式とオリエンテーションで、一緒に参加する十二名の皆さんと「もともとと住み良いまちにしたいね」と、北谷への熱い思いを語り合い、帰る頃は、不安なんて吹き飛び期待あふれる思いでいっぱいだった。

学習会を通し、北谷に何が足りなくて、

何が必要なのか、皆で意見を出し合い多くの事を学びあった。

北谷町の都市計画等、資料を読み込んでいくと、北谷にいなから知らなかった政策や取組みを知る事が出来た。また、他市町村の実例を調べていると、「なぜ導入しないのだろうか」と疑問も出た。

グループ分けをし、福祉・高齢者・子育て・教育・人材育成・商工観光と、的を絞った学習もしてきた。北谷町の女性議員の皆さんからアドバイスを頂き、短い期間の中、皆で（再質問の時間も考慮しつつ）一般質問を作成した。今回、女性議会へ参加した事で、議員の活動と北谷町議会について学ぶことができ、貴重な体験をさせて頂いたと思う。

一月十七日には、二回目のリハーサル（とても緊張した！）と、本番に向けての資料の最終確認を終えたので、後は一月二十日の「北谷町女性議会」を待つばかり。

女性議会本番。制限時間を二杯々使ったの一般質問と再質問を終え、やり終えた達成感と、無事に終わった安堵感で感無量です。町長をはじめ、各課の部・課長に丁寧な答弁を頂き、これからの北谷町の未来は明るいのだと実感。行政や議会ががんばっているから私もできる事から頑張りたいと思った。北谷町大好きです。

# 平成30年3月定例会に傍聴へ行こう!!

平成30年3月2日(金)開催予定

本会議を行う議場では、手話通訳及び補聴装置を御利用になれます。

- 手話通訳は、傍聴予定日の7日前までに議会事務局へお申込み下さい。
- 補聴装置は、傍聴受付の際にお申出下さい。詳細は北谷町ホームページ検索サイトで!!  
HPアドレス：<http://www.chatan.jp/chogikai/>

インターネットで町議会を知ろう!!

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町HP

北谷町議会

北谷町議会

検索



あなたも町議会を傍聴してみませんか?

お意見・ご感想又は、お問い合わせ

議会事務局

(098) 936-3382

(098) 936-9712

## 編集後記

町民の皆様あけましておめでとうございます。

この号がみなさまのもとへ届くころには、緋寒桜も満開でお正月気分から抜けたころかと思えます。

さて昨年は、基地から派生する諸問題に、振り回され、北谷町議会では年の瀬まで抗議決議に終始した様に思います。新年早々も米軍機不時着への抗議決議から始まり、何ともやるせない思いでいっぱいです。

しかし、議会で特筆する動きは選挙管理委員の、選出が定例議会会期中に、議場で選挙により実施されたことです。この20年ほど、議長推薦による議会の承認で決定されていた委員が、選挙で選ばれたことは北谷町の議会改革が、大分進んでいると捉えています。

また、給食センター建設にかかる炊飯設備の維持設置も一度決議された予算の一部保留を求め、議員発議により、教育委員会が、精査を行ったことも、「二元代表制」の根幹が示され、「議会」行政の協力のもと住民の公益が追及されたと考えられます。

新しい年が町民の皆様により幸多き年となりますよう議員一同、「二元代表制」の理念のもと行政と協力し誠心誠意頑張ってまいります。

今年九月の北谷町議会議員選挙を控え、是非、町民の皆様「議会」行政への関心を高め、民主主義社会をしっかり守っていただけるよう協力よろしくお願いたします。

(広報委員長) 仲栄真恵美子